都市計画道路有本中島線

都市計画変更案に係る説明会における質疑応答（概要）

説明会でいただいた主な質問と市の回答を、概要として整理しています。

Q1　昭和 40 年に都市計画決定されてから、現在の変更に至った経緯を教えてください。

A. 有本中島線と交差する市駅和佐線が令和 5 年に開通し、さらに和歌山市の道路ネットワーク向上のため、有本中島線の整備が必要と考えている。また、南側 350m区間（黒田交差点北側から大門川南側の区間）の整備が完成することから、引き続いて事業を進めて行きたいと考えている。

Q2　昭和 40 年に都市計画決定されてから、約 60 年を要した原因を教えてください。今後 10 年で完成するのか疑問がある。

A. 昭和 40 年に都市計画決定された道路は市内に多数あり、市全域の路線について優先順位を付けて整備を進めてきた。さらに平成 27 年度には、必要性のある路線を見直してきた経緯がある。市全域の交通の流れや道路ネットワークを考えた上で整備を進めている。事業期間約 10 年は、来年度から設計に着手し、実際に事業を進めていく期間として考えている。

Q3　工事完成までどのくらいの期間を要すのか。

A. 現時点では事業期間 10 年を予定している。ただし、用地買収の進捗状況等により、事業期間が変更となる場合がある。

Q4　事業期間 10 年の内訳を教えてください。

A. 詳細設計を 1 年、用地買収を 5 年、残り約 4 年で工事完了とし、全体で約 10 年と考えている。ただし、用地買収の進捗状況等により、事業期間が変更となる場合がある。

Q5　将来交通量推計 5,100 台/日は、整備後の交通量か。

A. 整備後の交通状況をパソコン上でシュミレーションをした値である。

Q6　高架と平面で費用はどのくらい変わるのか。

A. 道路単体で比較した概算は高架の方が約 20 億円高くなる。平面の場合は、鉄道設備や車両基地に影響するため設備移設や仮線路設置が必要であり、JR から費用算定ができない程の高額と言われている。

Q7　JR にとって平面より高架の方が、都合がいいのか。

A. 費用面に加え、踏切事故をなくすための安全確保の面からも高架の計画としている。

Q8　水道路踏切は、今まで通り通れるのか。

A. ＪＲと協議中であるが、今まで通り通行できる方向で継続的に訴えかけていく。

Q9　JR 協議が上手くいかない場合、代替案はあるのか。

A. 踏切を通行できなくなれば、地元住民への負担は大きくなると考えているため、継続的にＪＲへ訴えかけていく。

Q10　4 車線から 2 車線へ変更するとあるが、幅員は変わっていないようにみえる。

A. 高架部は片側 1 車線ずつの計 2 車線となり、地域住民の通行を確保するための側道部を高架の両側に設ける。よって幅員は合計 26ｍが必要となる。

Q11　有本中島線を北進し、有本交差点手前で右折レーンはできるのか。

A. 右折レーンを設置する計画。

Q12　有本交差点の南側で渋滞が発生しているが、整備後によりどのような変化があるのか。

A. 直進左折レーン及び右折レーンを整備する。右折待ちによる渋滞と考えているため、右折レーンを設けることで渋滞の緩和につながると考えている。

Q13　側道から本線、本線から側道は転回できるのか。

A. 転回できない。

Q14　高架上は、車だけが通るのか。歩行者自転車はどうなるのか。

A. 高架上の通行は、車のみ。高架の両側に側道と歩道を設置する。

Q15　側道は有本交差点まで続くのか。

A. 有本交差点の手前で合流するため、側道が有本交差点までは繋がらない。

Q16　有本交差点北側は整備範囲外であるが、有本中島線から北進して堤防まで通行できるのか。

A. 今まで通り通行できる。

Q17　信号はどこに付く計画か。

A. 現段階では確定していない。今後、詳細設計をしながら、警察と協議し決定する。

Q18　有本交差点に右折矢印信号は設置されるのか。

A. 都市計画道路完成後の道路形態や交通状況を踏まえ、信号を管轄する警察と協議しながら検討していく。

Q19　整備後、国道東進から有本中島線への右折はできるのか。

A. 国道部に右折レーンを設置する計画であるが、規制については管轄である警察と協議を進めていく。

Q20　大門川（新興橋）は、今まで通り渡れるのか。

A. 新興橋は架替を行うが、歩行者も車も今まで通り通行できる計画である。

Q21　新興橋は架け替えるのか。

A. 河川改修計画では現道路橋を約 1m上げる必要があるため、架け替えを行う。

Q22　新興橋の南側に橋脚が建つのか。

A. 南側には橋脚は建たない。

Q23　国道部の工事は本事業で行う計画か。

A. 有本中島線整備に伴い一部国道改良が必要となるため、本事業内で行う計画である。

Q24　国道改良はどんな整備するのか。
A. 国道の南側を拡幅する形で、右折レーンを設置する。

Q25　工事中は通行止めになるのか。
A. 詳細設計後に確定するが、本路線は交通量が多いと認識しているため仮設道路の通行などで通行止めはしない方向で考えている。

Q26　有本交差点北側（有本水源地線）についてはどう考えているのか。
A. 都市計画道路は有本交差点南側までとなる。有本中島線の整備による交通量の変化は、今後注視して検討していく必要があると考えている。

Q27　整備後は交通量が増えると思うが、黒田の交差点及び吉田交差点の渋滞が悪化するのではないか。
A. 整備後の交通量を確認する中で、警察と連携しながら、適した信号現示に調整するよう考えている。

Q28　南側 350m区間の完成はいつか。
A. 今年度末完成を目指している。

Q29　南側 350m区間の工事は、2 車線か。
A. 片側 1 車線の計 2 車線で整備している。